

商店街の取組事例

望ましいコミュニティづくりに資する商店街活動

北海道岩内町 『岩内町名店街』

岩内町名店街協同組合では、商店街の空き店舗を活用し、『いわない楽座』を設置。地域の特産品を扱う『アンテナショップ』、少子高齢化に対応した『コミュニティスペース』や『インターネットカフェ』として運営し、商店街の活性化を図っている。



愛媛県四国中央市 『川之江栄町商店街』

川之江栄町商店街振興組合では、商店街の空き店舗を活用し、『四国中央ドットコム』を設置。『子育て支援施設』を運営するとともに、高齢者のコミュニケーションの場となっている『シニアパソコンクラブ』等の文化教室を定期的



熊本県熊本市 『健軍商店街』

健軍商店街振興組合では、誰もが利用しやすい商店街を目指し、ユニバーサルデザインのまちづくりを展開。『いきいきショッピング事業』と称して、電動スクーター、買い物カート、ベビーカーの無料貸し出しや、タクシー業者の協力のもと荷物の宅配等の買い物サポートを実施している。



東京都板橋区 『ハッピーロード大山商店街』

ハッピーロード大山商店街振興組合では、商店街の空き店舗を活用し、全国各地の市町村の特産品販売や観光情報を発信するアンテナショップとして、全国ふるさとふれあいショップ『とれたて村』を設置し運営している。また、週末にはショップ店頭や商店街のスペースを活用して、現地のスタッフによるふるさとイベントを開催している。



多様な主体による商店街活動への参画〔NPO〕

山形県河北町『NPO法人河北子育てアドバイザー』

NPO法人河北子育てアドバイザーでは、河北町中央商店街の空き店舗を活用し、『ほっとひといき広場』を設置。『保育サービス施設』、『親子交流広場』として運営するとともに、子育て家庭を対象とした『フリーマーケット』や『高齢者との交流イベント』を開催している。



山口県岩国市『NPO法人チャイルド・ケア』

NPO法人チャイルドケアは、岩国市中通商店街の空き店舗を活用し、託児サービス施設『ぴよぴよ・まりふ』を設置・運営している。子育て支援事業を展開するとともに、地域コミュニティ活動に参画し、少子化に対応した商店街として活性化を図っている。



福岡県福岡市『NPO法人そよかぜ』

NPO法人そよかぜは、銀天町商店街の空き店舗を活用して、地域の高齢者拠点施設『そよかぜ倶楽部』を設置し運営している。高齢者や地域の助け合いを促進することを目的とした地域通貨『そよかぜ切符』事業や、買い物宅配事業等を実施している。



沖縄県名護市『NPO法人ITまちづくり協働機構』

NPO法人ITまちづくり協働機構は、名護市大通り会の空き店舗を活用し、パソコン教室、ミニデイサービス等を運営。また、観光ポータルサイトを構築し、地域住民や観光客への情報発信をすることにより、商店街の活性化を図っている。



多様な主体による商店街活動への参画〔その他〕

滋賀県木之本町 『木之本町商工会』

木之本町商工会では、木之本駅の駅舎に、地域住民が登録をして、農産物、民芸品、手作り小物、リサイクル品などを販売できるレンタルコーナー『ふれあいステーションおかん』を開設。四季おりおりの農産物に町内外からのリピーターも増え、また、出品者も口コミで広がり、新たな農商連携にもつながっている。



山梨県甲府市 『甲府商工会議所』

甲府商工会議所では、少子高齢化に対応するため、『子育て支援施設』と『高齢者交流施設』を併設した三世代交流施設『銀座街の駅』を設置・運営している。施設利用者は年間延べ25,000人を超えており、商店街の活性化に寄与している。



北海道斜里町 『(株)斜里工房しれとこ屋』

商店街の不足業種である生鮮食料品を望む住民の声の高まりに呼応し、地元企業・有志が中心となって出資を行い、まちづくり会社『(株)斜里工房しれとこ屋』を設立。生鮮食料品を核とした共同店舗整備を行い、地域住民の生活利便性の向上を図っている。



神奈川県平塚市『社会福祉法人湘南福祉センター』

地元で保育園を経営する湘南福祉センターでは湘南スターモール商店街の空き店舗を活用して子育て支援施設を設置・運営。地域の保育園として就園前の子供を預かる施設を作りたいという思いと、新たなファミリー層で活性化を図りたいという商店街の思いが一致しての開設となる。



イベント等による地域コミュニティ活性化への取り組み

宮城県仙台市 『仙台コレクション』

一番町一番街商店街振興組合を中心として、アーケード街をオープンステージとした東北初のファッションショー『仙台コレクション』を開催。

商店街、ファッション協会、専門学校等が協力し、市民参加型の地域をあげたイベントとすることにより、地域コミュニティの活性化を図っている。



愛知県名古屋市 『大須大道町人祭』

名古屋市中区大須地区の8商店街振興組合で構成する大須商店街連盟を中心として、毎年10月に『大須大道町人祭』を開催。同日開催の名古屋市が主催する『名古屋まつり』に対し、『庶民』の祭であることを特徴としており全国的にも有名となっている。昭和53年から続くこの祭の他、仕掛けを連続して行うことで街が活性化している。



千葉県柏市 『ストリートライブ&マイスター塾』

商工会議所がボランティア団体・ストリートブレイカーズ等と連携し、ストリートミュージシャンによるストリートライブやスポーツジム等との連携により健康な体づくりを目指すイベントを開催。各種行事の企画運営に参加することにより、まちづくり活動を学ぶ『柏マイスター塾』を実施し、街のにぎわい創出を図る。



鳥取県境港市 『水木しげるロード』

中心部の4商店街では、歩道沿いに同市出身の水木しげるの人気アニメ『鬼太郎』に登場する妖怪オブジェを設置し『水木しげるロード』として観光客が集まる魅力的な妖怪ワールドを演出している。また、オブジェを利用したスタンプラリーの実施や、各店舗で『鬼太郎』にまつわる商品を並べることによって、商店街の回遊性を高め、活性化を図っている。



その他の意欲的な取り組み

ランドオーナー（地主）との協働

静岡県静岡市『静岡呉服町名店街』

静岡呉服町名店街では、ランドオーナー（地主）の商店街活動への参画を推進。ランドオーナー会議を定期的に行い、商店街の魅力向上、継続的な発展を推進すべく、同会議が中心となって商店街に適切なテナントを誘致している。ランドオーナーとの協働によりテナントの商店街振興組合への加入率が向上している。



商店街の移転・再構築

北海道室蘭市『輪西商店街』

輪西商店街では、商店街有志が会社を設立して、商業施設『ぷらっと。てついち』と、これと直結した市民会館を建設。市民会館は市に売却。地元スーパーを核に17店舗が入居するほか、子育て室等の公益サービス施設を設置。市民会館の運営も商店街メンバーが設立したNPO法人が運営を受託。市民会館の利用率も高く集客面に効果を発揮している。



医療機関との連携

神奈川県横浜市『鶴見銀座商店街』

鶴見銀座商店街では、『高齢者にやさしい』『地域にやさしい』商店街を目指し、『つるぎん、健康王国。』宣言をして、健康をテーマにした商店街活動を展開している。商店街地域の医療機関や薬局の情報をまとめた『医療機関マップ』を作成し、来街者の利便性向上を図っている。



商店街ブランドの開発

東京都品川区『戸越銀座商店街』

戸越銀座商店街では、『戸越銀座ブランド開発委員会』を組織し、無添加・高品質・真心のサービスをコンセプトに経験や知識、技術を生かした『とごしぎんざ』ブランドを開発し発売している。日本酒、ワイン、ドレッシングや目覚まし時計など全35品目にする。また、商店街のイベントでは『戸越銀治郎』というマスコットキャラクターが登場し、子供たちの人気を集めている。

